

# 危険物新聞

第 329 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

発行人 川 井 清 治 郎

大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル8階

TEL (531) 9717・5910

定 価 1 部 50 円

## 大阪府危険物取扱者試験

### 7月12日、近大で

### 乙種第4類と丙種実施

大阪府では、昭和56年度第1回危険物取扱者試験を、7月12日近畿大学で、乙種第4類と丙種について実施することになった。

試験日 7月12日(日)

試験場 近畿大学

願書受付 6月15日、16日

受付場所 大阪府職員会館

### 次は 11月頃

大阪府の次回危険物取扱者試験は、11月頃、乙種全類について実施される予定。

### 豊中市消防長に梶田氏

■豊中市消防長 消防正監 梶田栄二

■松原市消防長 消防監 津村達男

### 豊中市防安協会25周年式典

豊中市防火安全協会では、設立25周年記念式典を、5月7日午後2時半より、市内ホテルアイボリーで開催した。福竹正治会長より永年会員87事業所に対し表彰状、井上前消防長等に対して感謝状と記念品を贈呈、来賓の豊中市長、大阪府知事等から祝辞がよせられ、引続き記念パーティーに移り、3時30分極めて盛会裡に終了した。



# POWER!

**YAMATO '81 心あつくパワーは未知へ**

人は夢見、その実現のために限りない情熱をそそぐ。  
 コロンブスは新大陸に、ライト兄弟は大空に、  
 大きな夢をはばたかせた。  
 偉大な進歩の陰には、はかり知れないエネルギーが炸裂する。  
 YAMATOはいまパワーを結集、  
 「防災」を通じて、より豊かな社会づくりに取組みます。

●安全を追求する総合防災システムメーカー  
**ヤマト消火器株式会社**

本 社 〒537 大阪市東成区深江北1-7-11 TEL 06(976)0701・7701  
 東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL 03(446)7151  
 北海道・仙台・新潟・大宮・横浜・静岡・名古屋・富山・岐阜・岡山  
 尾道・広島・高松・松山・北九州・福岡・大分・鹿児島

## 仮貯蔵、仮使用の基準

### 大阪市消防局制定

大阪市消防局は、このほど(1)仮貯蔵仮取扱いの承認基準(2)仮使用の承認基準を次のとおり発令した。

## 仮貯蔵又は仮取扱いの承認基準

(大阪市 56. 5. 12制定)

消防法(昭和23年法律第186号)第10条第1項ただし書の規定により仮貯蔵又は仮取扱い(以下「仮貯蔵等」という。)を行う場合の承認の基準は、次のとおりとする。

### 1. 共通事項

- (1) 仮貯蔵等の承認は、同一場所において法定期間(10日間)を終了後、反復して認めないこと。ただし、次に掲げる場合はこの限りでない。
  - ア 工事現場、ふ頭等の特殊な場所におけるとき
  - イ 事故による緊急措置等やむを得ないとき
  - ウ その他正当な理由があるとき
- (2) 仮貯蔵等を行う場所(以下「仮貯蔵所等」という。)は、危険物の規制に関する政令(昭和34年政令第306号。以下「政令」という。)第9条第1号に掲げる対象物から安全な距離があること
- (3) 仮貯蔵所等の付近には、火気を使用する設備、可燃性の物件等が存しないこと
- (4) 仮貯蔵等は、風速、湿度、気温等の気象条件を考慮して安全に行われること
- (5) 仮貯蔵所等には、危険物の性質、貯蔵又は取扱い状況に応じ、換気又は流出防止等の措置が有効に講じられていること
- (6) 仮貯蔵所等には、危険物の品名、数量等の実態に適應する第4種又は第5種の消火設備が有効に設けられていること

(7) 仮貯蔵所等には、見やすい箇所に第1号様式に定める掲示板及び危険物の規制に関する規則(昭和34年経理府令第55号)第18条第1項第4号に定める掲示板が設けられていること

(8) 仮貯蔵等の申請書には、危険物の品名、数量又は取扱い状況により、必要に応じて保安に関する事項を定めた次に掲げる図書が添付されていること

ア 危険物の貯蔵又は取扱いに関する防火責任者の任務

イ 巡回及び点検要領

ウ 災害その他緊急時における通報、消火等応急措置の要領

エ その他

### 2. 屋内における仮貯蔵等

建築物の構造は、木造でないこと。ただし、硫黄、生石灰、第3石油類、第4石油類、動植物油類又は第6類の危険物に係る場合で、取扱い工程において加熱し又は発熱させないときはこの限りでない。

### 3. 屋外における仮貯蔵等

(1) 次に掲げる危険物の仮貯蔵等は、認められないこと。ただし、コンテナ内において貯蔵する場合で安全が確認されるとき又は危険物の性状に応じて遮光、防水等危険防止のための有効な措置がなされているときは、この限りでない。

ア 第1類の危険物のうち、過酸化物質

イ 第2類の危険物のうち、黄リン、金属粉A及び金属粉B

ウ 第3類の危険物(生石灰を除く。)

エ 第4類の危険物のうち、特殊引火物

オ 第5類の危険物

(2) 仮貯蔵所等は、さく等により明確に区画し、その周囲に火災予防上又は消火活動上支障がないと認められる幅の空地を確保すること

(3) 一般交通の障害にならないこと

## あらゆる消防設備・設計・施工

非常扉の自動開錠装置  
防火扉・危険物貯蔵所等の自動閉鎖装置 } YMオートアンロック  
泡・ガス・エアホーム消火装置

YM式オートアンロック西日本総括  
齊田式救助袋 近畿地区  
日本ドライケミカル(株)  
ヤマト消火器(株)

代理店

株式会社

三和商会

TEL 06 (443) 2456

4. 危険物の貯蔵又は取扱いは、政令第 4 章に定める技術上の基準に準じて行うこと

附 則

この基準は、訓令の日から施行する。

第 1 号様式

危険物 仮貯蔵 所 仮取扱い			
承認年月日、番号	年 月 日 第 号	消防署長	
事業所の所在地 名称			
承認期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
類別、品名 最大数量			
防火責任者	連絡先		
危険物の 取扱注意事項			

60cm以上

60cm以上

備考 地色は白色とし、文字及び線は黒色とする。

仮使用の承認基準

(大阪市 56. 5. 12 制定)

消防法（昭和23年法律第 186 号）第11条第 5 項ただし書の規定により製造所、貯蔵所又は取扱所（以下「製造所等」という。）の一部を仮に使用する場合の承認の基準は、次のとおりとする。

1. 仮使用のできる部分

仮使用のできる部分は、次に掲げる部分以外の部分であること

- (1) 工事を行う部分
- (2) 工事を行うのに必要な作業場、資材置場その他工事と関連のある部分
- (3) 工事により危険物の貯蔵又は取扱いに支障又は危険を生じる部分

2. 工事中の安全対策

工事に際して、次の安全対策が講じられていること。ただし、火災予防上支障がないと認められる場合は、この限りでない。

- (1) 仮使用部分の上部で工事が行われる場合の落下物による事故防止上有効な養生措置
- (2) 安全工具等安全性を有する工事に用いる機械、工具の使用
- (3) 工事を行うタンク、配管又は機器内の危険物、準危険物、可燃性ガス等の除去及び工事部分以外の部分と導通している配管、ダクト又は排水溝のメクラ板、仕切板等による遮断
- (4) 法令により必要とされる防油堤、防火へい、油分離装置、消火設備等の工事をする場合の有効な代替措置
- (5) 地盤面下に係る工事を行う場合の埋設配管等の位置の確認
- (6) 工事部分に隣接して危険物施設等がある場合の有効な養生措置及び当該施設の責任者に対する工事内容の連絡

3. 火気の取扱いの安全対策

火気（裸火、溶接火花、電気火花、衝撃火花、摩擦熱等の発火源となるエネルギーをいう。以下同じ。）を発生し、又は発生するおそれのある工事は、やむを得ない場合に必要最少限度で行うものとし、次に掲げる安全対策が講じられていること。ただし、火災予防上支障のない場合は、この限りでない。

**消防機器の  
トップ・メーカー**

消防自動車から消火器まで

**モリダ 森田ポンプ株式会社**

本社 大阪市生野区小路東5-5-20  
☎ 06 (751) 1 3 5 1 (大代表)

(1) 火気を使用する部分と仮使用部分の間における火花の飛散又は可燃性ガスの流入を防止するための不燃材料、防災シート等による有効な遮へい

なお、溶接火花の飛散状況は、別表第1を参考にすること

(2) 火花が発生し、又は飛散するおそれのある部分に対する散水

(3) 危険物、準危険物、可燃性ガス等が残存し、又は浸入するおそれのあるタンク、配管又は機器に対する不活性ガス、スチーム、水等によるパーージ

(4) ガス検知器等による可燃性ガスの確認

(5) ピット等可燃性ガスが滞留しやすい場所における強制換気

(6) 仮使用部分における危険物の取扱い作業の制限

4. 工事期間及び作業工程

工事期間は合理的で、作業工程は火災予防上安全な順序であること

5. 仮使用部分での危険物の取扱い

仮使用部分での危険物の貯蔵又は取扱いが、工事により支障とならないように措置されているとともに、次に掲げる危険物の取扱いについては、特に安全性が考慮されていること

(1) 引火点が40度未満の危険物の開放容器での取扱い

(2) 高温高圧下での危険物の取扱い

(3) 発熱又は異常反応の発生が予想される危険物の取扱い

(4) 過酸化ベンゾイル、メチルエチルケトンパーオキシド等の有機過酸化物又はニトログリセリン、ニトロセルロース等の第5類危険物の取扱い

6. 消火設備及び警報設備

消火設備及び警報設備は、危険物の規制に関する政令(昭和34年政令第306号)の基準に適合しているほか、工事の状況により工事部分又は仮使用部分に適切に設置されていること

7. 危険物保安監督者又は危険物取扱者の立会い工事に際し火気を取り扱う場合は、工事部分において危険物保安監督者又は危険物取扱者の立会いが行われること

8. 保安管理

工事の内容、期間、規模、その他の状況に応じて次の事項が定められていること

(1) 統括責任者、施工責任者、現場監督者等及びその任務分担

(2) 工事関係者と製造所等の運転関係者の間における工事の開始、終了の連絡、全工事及び毎日の工事の内容、作業手順、危険物の取扱い状況その他の事前協議

(3) 始業前及び終業後の点検、火気使用に伴う安全措置の点検並びに仮使用部分における危険物の火災、漏洩、流出等異常な事態の防止又は早期発見のための巡回

(4) 事故発生時の通報、連絡、消火、その他の応急措置

9. その他

(1) 仮使用の承認を行っているものであっても、完成検査前に変更許可申請が提出された場合は、再度仮使用承認申請が必要であること。ただし、当初に提出された仮使用承認の条件と同一であると認められるものにあつてはこの限りでない。

(2) 工事を伴わない製造所等の変更は、仮使用承認申請を要しないこと

(3) 工事時期が2以上に分かれ、早期に工事を完了した部分を使用しようとする場合は、工事時期の異なる部分ごとに変更許可申請及び仮使用承認申請を行うとともに、当該部分の完成検査済証の交付を受けたのち使用すること

(4) 次に掲げる事項を表示した平面図、立面図等が仮使用承認申請書に添付されていること

- ア 建築物又は工作物の構造
- イ 工事部分及び仮使用部分
- ウ 火気を使用する工事部分
- エ 養生へい
- オ 消火設備及び警報設備

附 則

この基準は、訓令の日から施行する。

別表第1 ガス切断による火花の飛散距離

作業の高さ (m)	飛散距離 (m)
約 8	3.5 ~ 9.0
約 12	3.5 ~ 9.5
15	4.5 ~ 12.0
20	4.0 ~ 15.0

- 備考 1. 樋川、渡辺、池田、星野、安全工学、Vol.5 (2) 112 (1966).による。
2. 風速は、0 ~ 5 m/sである。
3. 火花は、切断時に発生するもの及びそれが地面などに落下し反射されて2次的に飛散するものをいう。

◇仮貯蔵・仮取扱の表示板..... 900円  
 ◇仮使用の表示板..... 250円

受験対策資料

乙種第 4 類もぎ問題

〔1〕基礎物理化学

問題 1 元素、化合物及び混合物について、次の組合せのうち正しいものはどれか。

(元素)	(化合物)	(混合物)
(1) 水素	軽油	食塩
(2) アンモニア	炭酸水素ナトリウム	軽油
(3) イオウ	水	ガラス
(4) 酸素	一酸化炭素	水銀
(5) ナトリウム	ガソリン	空気

問題 2 次のうち、熱の発生を伴うものはどれか。

- (1) エチルアルコールが蒸発して蒸気になる。
- (2) 窒素が酸化されて二酸化窒素になる。
- (3) 氷が融解して水になる。
- (4) 水蒸気が凝縮して水になる。
- (5) ドライアイスが昇華して二酸化炭素になる。

問題 3 熱伝導率の比較について正しいものはどれか。



- (1) 銅 — 銀 — 空気 — コルク
- (2) コルク — 銀 — 銅 — 空気
- (3) 空気 — 銅 — 銀 — コルク
- (4) 銀 — 銅 — コルク — 空気
- (5) 銀 — 銅 — 空気 — コルク

問題 4 酸化について次のうち正しいものはどれか。

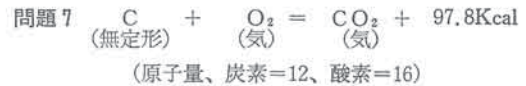
- (1) 酸化物が分解して酸素を発生すること。
- (2) アルカリ性の水溶液が酸性になること。
- (3) 物質が水素と化合すること。
- (4) 物質が酸素と化合すること。
- (5) 物質が水と化合すること。

問題 5 次のうち、正しいものはどれか。

- (1) 対流は熱のため比重が小さくなったときのみおこる。
- (2) 液体が凝固するときは、融解熱に等しい熱を放出する。
- (3) 氷の熱伝導率は銀より大きい。
- (4) 鉄の体膨張率は線膨張率の約1/6である。
- (5) ガソリンの膨張率は空気より大きい。

問題 6 次の組合せで燃焼の起り得るものはどれか。

- (1) 軽油 — 灯油 — 断熱圧縮
- (2) 一酸化炭素 — 空気 — 可視光線
- (3) 酸素 — ガソリン — 静電気
- (4) プロパン — ブタン — 衝撃火花
- (5) アセチレン — 酸素 — ライターの火



この熱化学方程式からみて、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 炭素と化合する酸素の容積は、生成された二酸化炭素と同容積である。
- (2) この反応は発熱反応である。
- (3) 炭素12gが完全燃焼したとき、97.8Kcalの熱量を発生した。
- (4) 二酸化炭素の生成熱は97.8Kcalである。
- (5) 炭素と化合する酸素の容積は、標準状態で48.8ℓ



消防用設備

SAFETY AND FIRE  
ENGINEERING   
NFPA®  
消防防火協会会員

株式会社 マルナカ

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 防災・設備・設計  | 消火器具一式    |
| 施工・保守・点検  | 避難設備      |
| 屋内外消火栓設備  | 自動火災報知設備  |
| スプリンクラー設備 | 非常放送設備    |
| ドレンチャー設備  | 漏電警報器     |
| 泡消火設備     | 防災設備全般    |
| ガス消火設備    | 安全衛生保護具機器 |
| 粉末消火設備    | 公害防止機器    |

本 社 〒530 大阪市北区中崎西 4 - 2 - 27  
TEL (06)371-7775(代)・372-3277(代)  
東京支店 〒112 東京都文京区千石4丁目24番 4号  
TEL (03)944-0161(代)  
神戸支店 〒653 神戸市長田区東尻池町3の4の19  
TEL (078)681-5771

である。

問題8 電気火災に適応し、しかも窒息消火を主とする消火剤の組合せで正しいものはどれか。

- (1) 酸アルカリとケミカルフォーム
- (2) 二酸化炭素と消火粉末
- (3) エアー・フォームと水噴霧
- (4) フォーマイトと消火粉末
- (5) 霧状の強化液と機械泡

問題9 次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 水の沸点は、気圧が低くなると100℃より低くなる。
- (2) 水の沸点は、気圧が高くなると100℃より高くなる。
- (3) 水の沸点は、気圧の変化には関係なく100℃である。
- (4) 沸点とは、その液体から生ずる蒸気圧がそのときの外気圧と等しくなるときの温度である。
- (5) 水の沸点は、食塩を溶かすと高くなる。

問題10 泡消火剤に使用される薬剤として正しいものはどれか。

- (1) 水と炭酸カリウム
- (2) ドライアイスと二酸化炭素
- (3) 第一りん酸アンモニウムと炭酸水素ナトリウム
- (4) 炭酸水素ナトリウムと硫酸アルミニウム
- (5) 硫酸と炭酸水素ナトリウム

〔2〕危険物各論（4類）

問題11 「この類の危険物はいずれも無機化合物の強酸で強い酸化性を有する。またそれ自身は不燃性であるが水と作用すると発熱する液体か固体の物質である。」この類の危険物は次のうちどれか。

- (1) 第1類

- (2) 第2類
- (3) 第3類
- (4) 第5類
- (5) 第6類

問題12 第4類危険物の共通特性として、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 一般に引火点は着火温度より低い。
- (2) すべて窒素化合物である。
- (3) 一般に蒸気密度は空気より大きい。
- (4) 例外もあるが一般に水より軽い。
- (5) 常温（20℃）では液状のものが多。

問題13 ケミカル・フォームによる消火が最も効果的である危険物は、次のうちどれか。

- (1) アセトアルデヒド
- (2) エチルアルコール
- (3) メチルエチルケトン
- (4) ベンゼン
- (5) ピリジン

問題14 引火点について、次の組合せのうち正しいものはどれか。

- (低) ← 引火点 → (高)
- (1) メチルアルコール — メチルエチルケトン — テレピン油
  - (2) メチルアルコール — テレピン油 — メチルエチルケトン
  - (3) テレピン油 — メチルアルコール — メチルエチルケトン
  - (4) メチルエチルケトン — メチルアルコール — テレピン油
  - (5) メチルエチルケトン — テレピン油 — メチルアルコール

問題15 第4類危険物の貯蔵、取扱いの注意事項で、次のうち誤っているものはどれか。

**空調設備機器製造・販売**

オイルタンク用液面計  
遠隔式警報ユニット液面計  
各種液体タンク用液面計  
フロートスイッチ・微圧スイッチ  
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全  
ローコストを追求する

**GIKEN**

TEL 06(253)0414(代表)



**株式会社技研**

〒542 大阪市南区北炭屋町27番地 野々垣ビル ☎ 253-0414-5

- (1) 蒸気が重いので、床面に滞留するから換気に注意する。
- (2) できるだけ通風のよい、冷所に貯蔵する。
- (3) 静電気が蓄積しやすいから、取扱設備は大地に接地する。
- (4) 火気、高温体の接近は禁止する。
- (5) 火気の風上で取扱うようにする。

問題16 着火温度の高低の順序で正しいものはどれか。

着火温度  
(低) ←————→ (高)

- (1) エーテル—ベンゾール—灯 油
- (2) 灯 油—ベンゾール—エーテル
- (3) エーテル—灯 油—ベンゾール
- (4) ベンゾール—灯 油—エーテル
- (5) ベンゾール—エーテル—灯 油

問題17 ガソリンについて、次の文章の□で誤っているものはどれか。

ガソリンは主として原油を分留して、およそ イ、150℃~250℃ の留分をとったもので、ロ、無色透明 の液体である。比重は約 ハ、0.7、水にはほとんど、ニ、溶けず、爆発限界の ホ、下限 は1.4%と小さく、少量の蒸気が空気中に混っても危険である。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ニ (5) ホ

問題18 次のうち誤っているものはどれか。

- (1) キシロールには3つの異性体がある。
- (2) アセトンは第1石油類で水によく溶ける。
- (3) トルオールは別名トルエンといい、第1石油類としてとりあつかう。
- (4) ピリジンは引火点が120℃で第3石油類としてとりあつかう。
- (5) さく酸アミルは、さく酸とアミルアルコールが化合したもので、芳香性が強い。

問題19 二硫化炭素について次のうち誤っているものはど

れか。

- (1) 爆発限界は1.3%~50%である。
- (2) 引火点は-30℃である。
- (3) 比重は0.92である。
- (4) 着火温度は90℃である。
- (5) 蒸気密度は2.6(空気=1)である。

問題20 エーテル、ベンゾール、二硫化炭素について、次の記述のうち誤っているものはどれか。

- (1) いずれも消火にあたっては窒息消火が適当である。
- (2) いずれも蒸気密度は空気より大きい。
- (3) いずれも引火点は常温(20℃)以下である。
- (4) いずれも水にはとけにくい。
- (5) いずれも酸素の化合物である。


正解は次号に掲載

## 点検表、標識類

- 危険物給油取扱所点検記録表
- 危険物地下タンク貯蔵所記録表
- 危険物製造所タンク貯蔵所 //
- その他危険物各種施設の点検記録表
- 危険物製造所等設置申請書様式
- その他各種申請届様式
- 危険物ハンドブック
- 危険物移送運搬ポケットブック
- その他各種参考資料
- 消防用設備各種届様式
- 危険物製造所標識
- 仮貯蔵、仮取扱いの標識(新制定)
- 危険物運搬移送標識
- その他政令、規則制定標識掲示板各種

大阪市危険物安全協会 (531-5910)

### 防災設備機器で 未来をひらく 《技術のハツタ》



日本特許  
防災設備

消防器・消火装置の総合メーカー  
株式会社 **初田製作所**

本社工場 / 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地  
〒573 TEL (0720) 56-1281(代)

大阪支社 / 大阪市西淀川区千舟1丁目5番47号  
〒555 TEL (06) 473-4871~4

堺出張所 / 堺市中之町東2丁目2番13号  
〒590 TEL (0722) 21-3444

80年代ハツタの提言●ハツタは安全をさらに追求いたします●ハツタはフロンティア精神をモットーにいたします●ハツタは心のふれあいを大切にいたします

## 危険物取扱者養成講習ご案内

昭和56年度第3回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

### 1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
乙種第4類	1期	6月4日(木)、17日(水)	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅17号出口)
	2期	6月8日(月)、24日(水)	大阪府商工会館
	3期	6月9日(火)、26日(金)	大阪府商工会館
	4期	6月12日(金)、19日(金)	堺市民会館 (高野線堺東駅ヨリ約8分)
	5期	6月10日(水)、23日(火)	※茨木市商工会館 (国鉄、阪急、茨木駅ヨリ約13分)
	6期(夜)	6月8日(月)、11日(木)、17日(水)	午後6時～9時 大阪科学技術センター (地下鉄本町駅ヨリ北へ3分)
	日曜コース	5月31日(日)、 6月7日(日)、21日(日)	午前10時～4時 ※市立(森ノ宮)労働会館 (国鉄、地下鉄森ノ宮駅ヨリ2分)
丙種	6月15日(月)	10時～4時	大阪科学技術センター (地下鉄本町駅ヨリ北へ3分)

### 2. 申込方法 (今回の日曜コースは満席締切り)

所定の申込書に会費を添え、次の申込期間、申込所で申込み、テキスト、受講票、受験願書用紙を受領のこと。会場及び郵送での申込みは一切受けません。

各講習会場は定員制につき、各申込所にそれぞれ期別定員の割当てをしますから、申込期間中各申込所においても定員に達し次第満員締切りさせていただきます。 ※印会場では写真撮影はしません。

### 3. 受付期間と場所

受付場所	日	時
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会	5月28日(木) 14時00分～16時00分
(阪急宝塚線岡町駅前)	豊中商工会議所	5月28日(木) 9時30分～11時30分
茨木市消防本部内	茨木市災害予防協会	5月28日(木) 13時30分～16時00分
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会	5月29日(金) 9時30分～11時30分
守口市・門真市消防本部内 (地下鉄・守口駅前)	守口門真防火協会	5月29日(金) 14時00分～16時00分
堺市消防署内 (阪堺線・大小路駅前)	堺市危険物協会	5月29日(金) 13時30分～15時30分
地下鉄・四ツ橋駅北出口2号 (四ツ橋ビル8階)	大阪府危険物安全協会事務局	6月2日(火) 10時00分～16時00分

(注) 各受付場所とも、昼食時は避けて下さい。

### 4. 会費 (テキスト代を含む) ( ) 内金額はテキスト不要の場合

種別	会員	会員外	
乙種	6,000円 (5,000円)	7,000円 (6,000円)	ただし 6期は各500円割増
乙種日曜コース	10,000円 (9,000円)	12,000円 (11,000円)	
丙種	3,000円	4,000円	